

# 地域連携 学生フォーラム in 大阪 スピンオフ企画 インカレ課題解決 ワークショップ 実施報告

## 1. 事業趣旨:

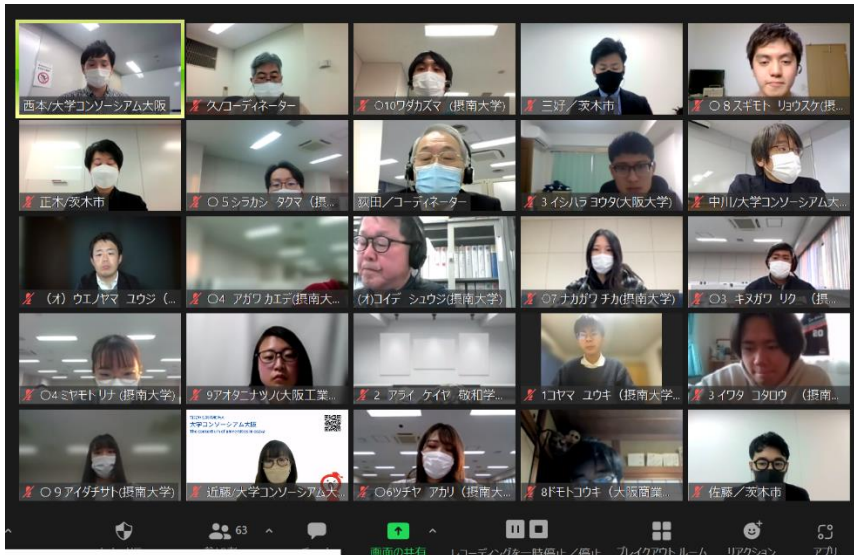
自治体の抱える課題に対し、様々な地域で取り組む大学コンソーシアム大阪の会員大学の学生が自発的な学びや協働によって解決策を提案し、自治体担当者を行うワークショップを通じて、その地域に対する理解を深めながら、地域社会について学ぶことを目的とする。

実施日時: 2022(令和4)年2月12日(土)13:00~17:30  
 実施場所: オンライン(Zoom)  
 テーマ: 大阪の地域の課題解決  
 コーディネーター: 荻田 喜代一氏(摂南大学 学長、大学コンソーシアム大阪 地域連携部会長)  
 久 隆浩氏(近畿大学 総合社会学部 教授、地域連携部会 推進委員長)  
 協力先: 中野 翔大氏(寝屋川市 経営企画部 企画二課 副係長)  
 正木 友希氏(茨木市 都市整備部 北部整備推進課 地域づくりグループ長)  
 三好 正祐氏(茨木市 企画財政部 政策企画課 課長代理)  
 佐藤 瑛氏(茨木市 企画財政部 政策企画課 行政経営係)  
 参加学生数: 計9大学 52名 (会員大学 6大学 49名、非会員大学 3大学3名)  
 (大学別) 大阪大学3名/大阪経済大学10名/大阪工業大学1名/大阪商業大学1名/  
 四天王寺大学1名/摂南大学33名/敬和学園大学1名/北海道大学1名/立命館大学1名  
 (学年別) 1年生:12名/2年生:29名/3年生:6名/4年生:4名/大学院生:1名  
 オブザーバー: 大阪工業大学 教員1名、摂南大学 教員2名、職員2名  
 企画・運営: 大学コンソーシアム大阪 地域連携部会  
 その他: 学生は事前課題として自治体(寝屋川市、茨木市)について調べ、質問を用意し参加した。

## 2. プログラム概要:

プログラム	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターからの趣旨説明</li> <li>・各自治体の紹介</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ※以降、各自治体のグループに分かれて進行                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク1</li> <li>・グループワーク2</li> <li>・全体発表</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体、コーディネーターからのフィードバック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワーク1:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題と思われる点の共有と自治体への質問の整理</li> </ul> </li> <li>グループワーク2:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体に対する質疑応答</li> <li>・課題解決方法の検討・整理</li> </ul> </li> </ul>

### 3. オンラインミーティングの様子:



### 4. コーディネーター、自治体からのコメント:

- ・多くのグループが企画・立案するうえで重要なターゲットの設定をきちんと設けており、中には何をもって達成されたのかという指標を定めているグループもあったのが良かったと思う。
- ・自治体の取り組みは同じようで、実は異なっている。その自治体が何を課題と考え、何を目的に、どのようなことを進めているのかをぜひ調べてもらいたい。また自分であればどのようにその目的を達成するのかを今日用いた手法や考え方によって自ら考えてほしい。そして、それを今後の社会人に向けての学びの中で生かしてほしいと思う。(以上、茨木市 正木氏)
- ・今日の講演を聞いて、初めて茨木市にダムが建設されることを知った人も多いと思うが、実際に足を運んでもらえればと思う。(茨木市 佐藤氏)
- ・寝屋川市の課題解決として色々な意見をもらった。行政に対し、様々な支援を求める声は多いが、市民がより良い生活をするためにサポートをしてほしいといった意見があり印象的だった。
- ・行政と関わる機会は少ないと思うが、自身が生活する中で様々な疑問や興味をもってもらえたらありがたい。(以上、寝屋川市 中野氏)
- ・今回は与えられた課題をもとにディスカッションしたが、自分の暮らしている街においても魅力や課題がある。今日をきっかけに自分たちの街にもぜひ関心をもってもらいたい。
- ・課題解決の視点から入ってしまうと、どうしてもネガティブになってしまいがちだが、街の魅力と街の課題をどのように組み合わせていくのが大切であり、魅力と強みから考えればポジティブな発想が生まれる。
- ・他人事としてではなく、自分事として発信するほうがアピール力も上がる。自分がどうであれば、その街に行きたくなるのか、また住みたくなるのかを考える方がわかりやすい。自分ができるところをぜひ探してほしい。(以上、久コーディネーター)
- ・自分事として捉えることは大切である。今回の大学コンソーシアムの取り組みや寝屋川市、茨木市の良いところぜひ SNS で発信してもらいたい。(荻田コーディネーター)

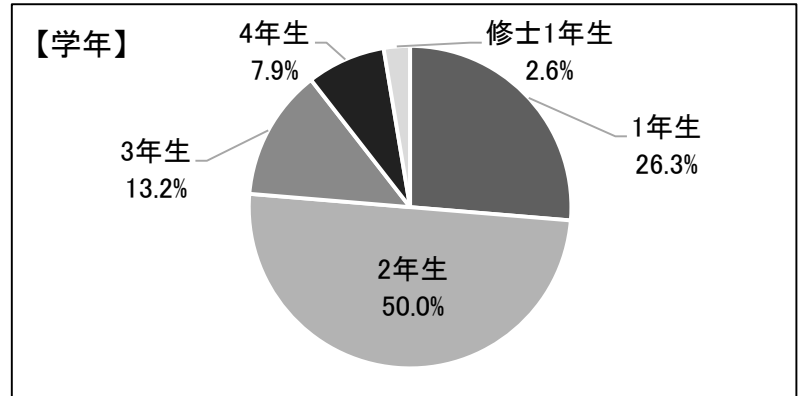
### 5. 参加者アンケート:

別紙のとおり

地域連携 学生フォーラム in 大阪 スピンオフ企画  
**インカレ課題解決ワークショップ**  
 参加者アンケート集計結果（回答者38名）

## 1. 学年について

1年生	10
2年生	19
3年生	5
4年生	3
修士1年生	1
その他	0



## 2. 開催日程について

## 【時期】

適切であった	37
適切ではなかった	1

## 【曜日】

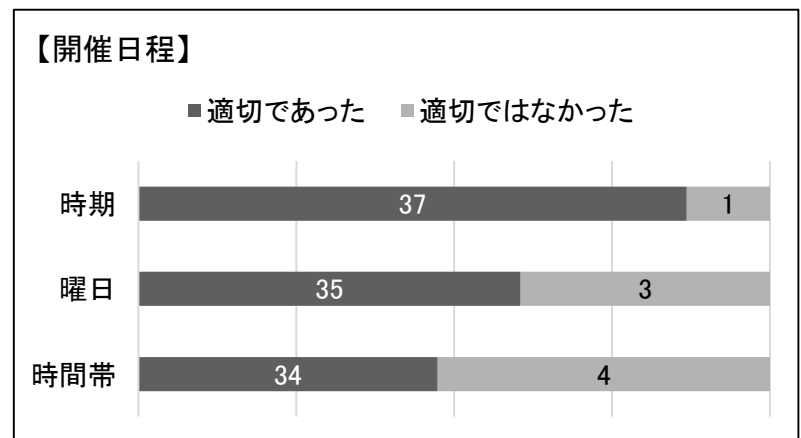
適切であった	35
適切ではなかった	3

## 【時間帯】

適切であった	34
適切ではなかった	4

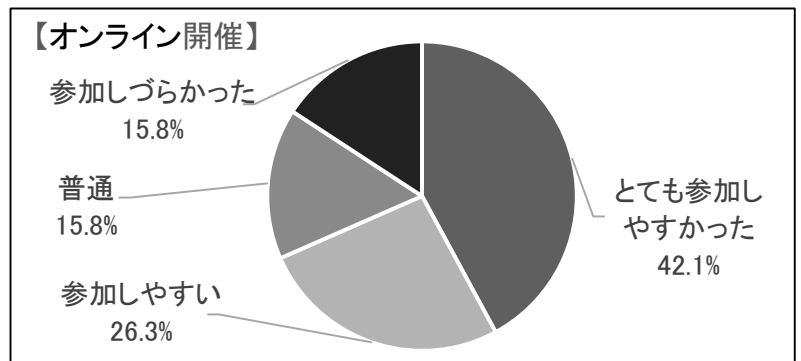
## 《意見》

- ・もう少し時間を短くして数回に分けると良い。 / ・長期休みは避けていただけると予定の都合がつけやすい。
- ・午後の時間の方がやりやすかったです。 / ・もう少し早くても良かったです。 / ・平日であればより良かった。
- ・初対面、オンラインかつ内容が濃いため、参加者だけで休憩時間を確保するのは難しかった。



## 3. オンライン開催について

とても参加しやすかった	16
参加しやすい	10
普通	6
参加しづらかった	6
とても参加しづらかった	0



## ⇒その理由《とても参加しやすかった、参加しやすい》

- ・コロナ禍のため。 / ・日曜日ではなかったため。
- ・気楽に参加できるため。 / ・他大学の人と仲良くなれたから。 / ・大学の授業で、オンラインには慣れているから。
- ・対面では話づらい人もオンラインだと話しやすい環境であったと思うから。
- ・開催地が遠いところであると交通費や時間もかかってしまうから、手軽でよかった。（他8名）
- ・参加自体はしやすかったが、外部からの参加者数が少なかったため、その人たちへの配慮が必要です。（参加しやすい・したくなるイベントへ）

- ・このような体験型の講座は初めて受けたのですが、あまり緊張せず質問をすることができたからです。
- ・家で参加出来ましたし、オンラインでもしっかりと自分の意見を発表することができたからです。
- ・jamboardをグループで共有して、作業をしていくことによってオンラインでも効率的に進めることができたから。

⇒その理由《普通》

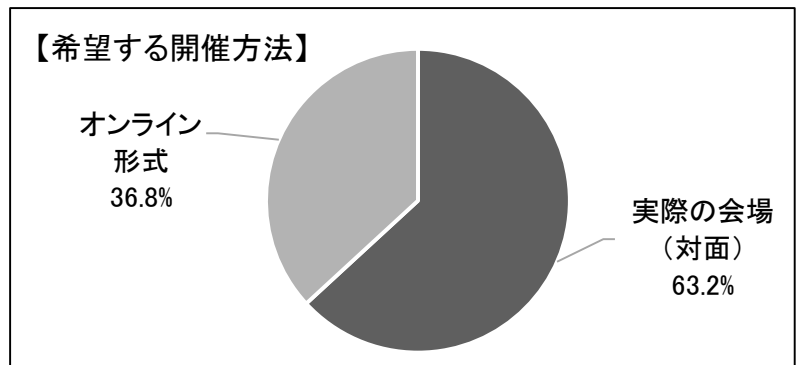
- ・自分はスムーズに参加することが出来たが、何人かトラブルが起こっていたようなので。
- ・広い地域で交流できることが、興味深い内容であった。／・やりにくい要素があったと感じた。

⇒その理由《参加しづらかった》

- ・ツールを使うのに戸惑っている方がいらっしやったり、タイムロスがあったから。
- ・カメラが使えず、顔を見ることができなかった参加者がいたから。
- ・対面で行いたかった。(他2名)／・対面より接し方が難しく、話しにくいように感じた。

4. 今後、希望する開催方法について

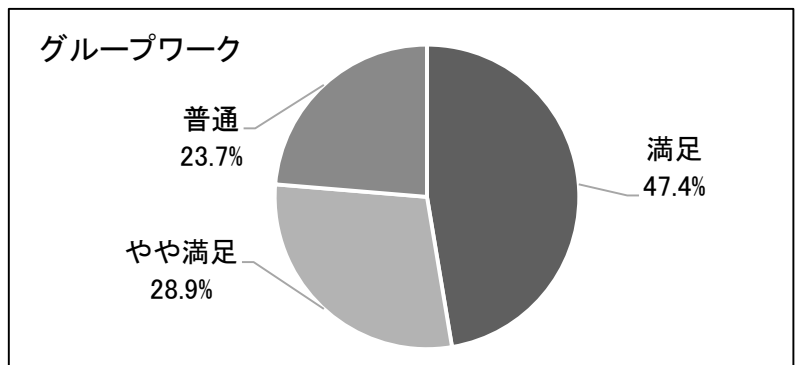
実際の会場(対面)	24
オンライン形式	14
その他	0



5. ワークショップの満足度について

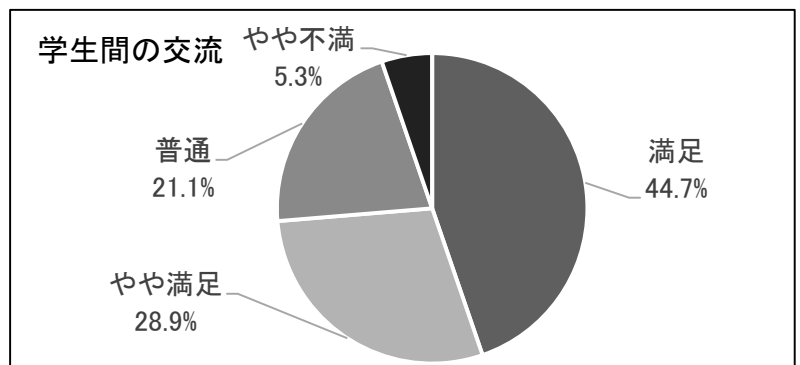
【グループワーク】

満足	18
やや満足	11
普通	9
やや不満	0
不満	0



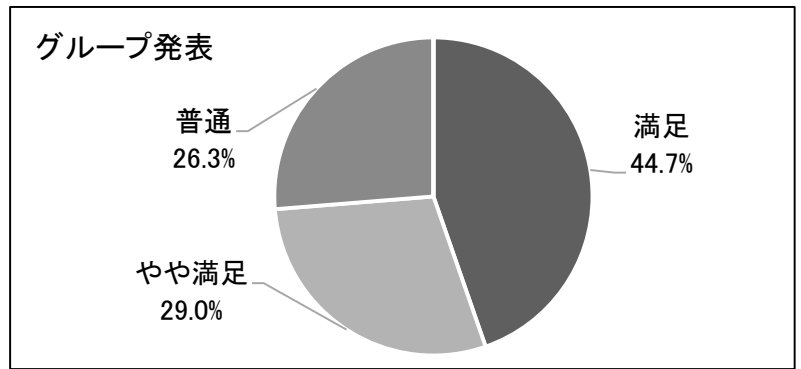
【学生間の交流】

満足	17
やや満足	11
普通	8
やや不満	2
不満	0



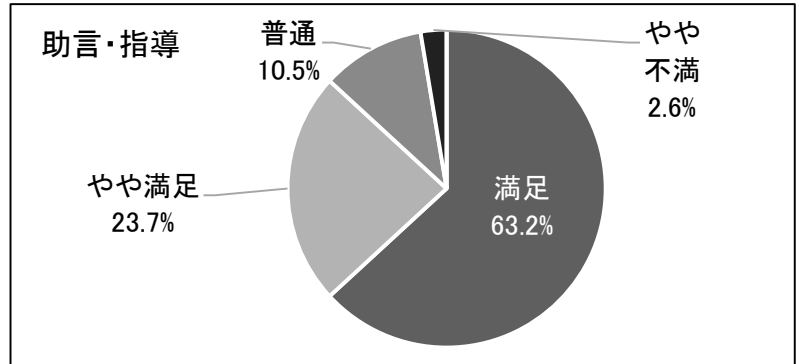
### 【グループ発表】

満足	17
やや満足	11
普通	10
やや不満	0
不満	0



### 【講師やコーディネーターの助言・指導】

満足	24
やや満足	9
普通	4
やや不満	1
不満	0



### 6. ワークショップの参加をきっかけに、今後どのように地域社会と関わっていききたいか？

- ・まだ解決できない問題点を見つけ解決に導きたい。／「いばきた」に行ってみようと思いました。
- ・地域活性化や少子高齢化に関わっていききたい。／自分事として考えていききたい。(他1名)
- ・市民目線で物事を考えながらも、自治体目線で様々な視点から密接的に関わっていきたいです。
- ・来年から実際に地域と関わる仕事なので今回のことを頭に入れて仕事をしたい。
- ・ゼミでの地域活性化活動に生かすことが出来ると思うのでそういった部分で関わっていこうと思っています。
- ・自分が住む地域で何か感じたことがあればすぐに行政に連絡してみる。／ボランティア参加(他1名)
- ・イベントや地域活性化活動があった際に、参加してみたい。／SNSを確認するなど。
- ・多くの地域のことを知って、地域の方と交流したり、課題を一緒に解決したいと感じた。(他3名)
- ・この機会をきっかけに地元の小さなところにも目を向けていこうと思いました。
- ・もっと具体的に私達が出来ることはないのか考え、関わってみたい。
- ・地域の人との連携はできれば良いと思うので、市民も巻き込んだ連携を今後見据えていけたらと思います。
- ・少子高齢化の課題や空き家問題について解決策を考え、今後、地域貢献の活動に積極的に取り組もうと思いました。イベントにボランティアで参加したいです。
- ・今度、市役所との委員会があるので活用していきたいです。
- ・今後は町のことについて今までと違った視点で考えるようにしていきたいです。
- ・自分の住んでいる地域に対して興味を持っていききたい。(他1名)
- ・私の住む地域での課題を知り、課題解決の手助けになりたいと思いました。
- ・自分はこれから社会に出る一歩手前の段階なので就職先や自分が居住する先と考え、どうすれば町の発展ができるのか活動する人として関わりたい。
- ・普段何気なく目にする行政機関の取り組みをよく調べてみようと感じた。
- ・寝屋川市や茨木市に住んでる方々からも、地域の魅力を聞いてみたい。
- ・直接市の方と話し合えることで、ネットで調べた情報だけでは把握できない情報が忖度なく手に入るため、こういった機会により他の地域社会をより知っていききたい。

- ・自分の専門が建築分野なので、建築の視点から地域社会と関わっていききたいです。
- ・持続的で投資の価値のある地域社会と今後、関わっていききたいと思いました。
- ・もっと色々な地域を知って貢献していきたい。／・実際に自治体を訪れて自分で街を見つめてみることに。

## 7. 本ワークショップに参加し、学んだことや良かった点

- ・他大学の人と交流できる機会を得られていい刺激になった。(他8名)
- ・改めてその土地の良さが分かった。住んでいる地域のことも気になった。
- ・普段考えないことを考えて、色んな人の意見を聞いて新たな発見や今後こうしていこうという意欲が湧いた。
- ・個性的な意見や、かなり深く納得できる意見など、様々な意見、視点が見れて良かったです。(他3名)
- ・他大学と交流できたし、自分の意見の幅も増えてよかった。
- ・自分の意見だけでは思いつかなかったアイデアや選択を知ることが出来たことと、質問することによって話を広げていくことの大切さを学んだ。
- ・街づくりに関して、関心を持っている人がかなりいることを知れた。
- ・普段は知ることが出来ない寝屋川市や茨木市の取り組みについて知ることが出来てとてもよかった。
- ・今回は茨木市についてワークしましたが、名前だけ知っていた茨木市の課題や取り組みを知ることができてよかった。また、訪れてみたいという気持ちになった。
- ・空き家の活用、学生交流提供の場の活用について学びました。
- ・他人事にせず自分事として考えていくことの大切さを学びました。(他1名)
- ・実際に自治体の方々からお話を聞き、交流することが出来て良かった。
- ・市役所の職員さんが小さなことまで考えていて面白いと感じました。
- ・地域活性化のために市役所側が多数のプロジェクトを考えていた点。
- ・北河内を知る授業と少し似通った内容で、内容として新しいものはなかったですが、全く違う大学生と対話することで話す内容が異なってきたので楽しくできました。
- ・参加しなければ、交流がなかったであろうたくさんの学生とお話ができ良かったです。また、自分とは異なる価値観を持った人やユニークな考え方をを持った人がいて、とても面白かったです。
- ・自分だったらどんなことをしたいかなど、自分事にするのを学びました。発表に対する質問への返答の仕方が難しかったです。ファシリテーターとして、グループワークで発言が少ない人への意見の促し方が難しかったです。茨木市の現状や今後について詳しく質問し、興味を持ちました。ゼミの活動で一度行きましたが、また茨木市へ行きたいと思いました。
- ・今まで行政のことや地域(茨木市や寝屋川市)のことについて詳しく知りませんでしたが、知ることができて良かったです。行政や町の活性化について以前より興味を持ちました。今までと違った視点で、まずは自分の住んでいる町のことについてもう少し調べてみようと思います。
- ・今まで地域について考えたことがなかったので、良い経験になった。
- ・行政がどのように課題解決に取り組んでいるかがわかりました。また、発表前のグループワークの際に、寝屋川市役所の方がとても参考になる意見を出してくださいました。意見を元にして明確に解決策を出すことができました。
- ・まずは、茨木という町に関わりが少なかったことから、新しい町の形を知れたことが良かったことです。また、「課題」から考えることは悪いことではないが、ネガティブかつ視野が狭くなりやすいということを実感できました。
- ・寝屋川市に、空き家が多いことなどを知らなかったのが驚きました。寝屋川だけでなく、これから先、空き家が増えるのは目に見えていることなので、なにか改善・有効活用できるようなことを考えられたらいいなと思いました。
- ・自分が気づけなかった問題発見や解決策などがたくさんあったので、とても勉強になった。
- ・グループワーク中に市の職員さんがくることで全体では質問しづらいことでも、質問しやすかったです。
- ・地域社会と自分の関係についてより深く考えてみる機会ができて嬉しかったです。
- ・アイスブレイクの重要性を改めて再確認した。

## 8. 本ワークショップについて改善が期待される点

- ・ 人によって電波が悪い。／・Jamboardが少し使いにくかったです。／・もう少し時間のゆとりが必要であると思う。
- ・ 今回の参加者(他グループ)と今後つながる機会がないこと。(他1名)
- ・ 時間が詰め込み過ぎていたので、アイスブレイクの時間や情報共有に充てる時間が欲しかったです。
- ・ オンラインで4時間半は長いので、休憩がもっと欲しかったです。説明の時間が長かったです。(他2名)
- ・ 荻田先生がおっしゃっていたように、アイスブレイクの時間を増やすべきだと思います。最終的には打ち解けていたものの、発言がより盛んに起こる工夫をすればディスカッションでの新たな見解が生まれる可能性があると思います。
- ・ グループワークで議論に参加する人が少なすぎる。(参加しようという姿勢すら見れない)ただ画面の前に座っているという人は、極力減らして欲しいです。

## 9. その他、意見や感想

- ・ 地域活性化について学ぶことができたので、参加してよかったです。ありがとうございました。
- ・ 貴重な経験をありがとうございました。私は自然が好きなので車の免許を取ることができたら、「いばきた」に行って豊かな自然に癒されたいなと感じました。
- ・ 今回は初めてインカレに参加しました。このように他大学の学生と行政の方々とお話しする機会が初めてで緊張しましたが、私とは違う視点や意見があり、とてもよい刺激になりました。寝屋川市役所の方が発表前のグループワーク内で、多くのアドバイスや意見をしてくださいました。発表内容が定まらない私の班に手助けして頂き、ありがとうございました。同じグループの摂南大学のリーダーの方も、みんなに話を振っていただいて、話しやすい雰囲気でした。今回をきっかけに行政の地域課題について、インカレ自体についても興味を持ちました。今後、他のインカレにも参加しようと思います。このような機会を設けて頂きありがとうございました。
- ・ 寝屋川市について、あまり知らなかったけれど、このワークショップを機に少しは知れたのでよかったです。